

農地法第3条の3の規定による届出書  
【記載例】

令和 5年 9月 1日

松前町農業委員会 会長 様

日付・住所・氏名を記入して、押印（認印）してください。

住所 伊予郡松前町大字筒井631番地

農地を取得した場合は、採草放牧地を二重線で消してください。採草放牧地を取得した場合は、農地を二重線で消してください。

氏名 松前 太郎 (印)

下記農地（採草放牧地）について、相続により所有権を取得したので、農地法第3条の3の規定により届け出ます。

記

1. 権利を取得した者の氏名等（国籍等は、所有権を取得した場合のみ記載してください。）

氏名	住所	国籍等	在留資格又は特別永住

2. 届出に係る土地の所在等

所在・地番	地目		面積 (㎡)	備考
	登記簿	現況		
伊予郡松前町大字A字B1番1	田	田	1,234	
	相続により、取得した農地の所在（大字・小字含む）・地			
	相続登記の受付をした年月日を記入してください。			

3. 権利を取得した日  
令和 3年 12月 1日

相続をした理由を記入してください。

4. 権利を取得した理由  
故松前次郎（父）より、農業の後を継ぐため。

取得した権利の種類（所有権・賃借権など）と、相続した農地の現況（自作・人に貸している【法律・権利の種類・契約期間を記載する】など）を記入してください。

5. 取得した権利の種類及び内容  
所有権、自作地（自分で耕作）。

6. 農業委員会によるあっせん等があるか無いかを「有・無」で記入してください。  
無。

(記載要領)

- 本文には権利を取得した事由及び権利の種類を記載してください。
- 届出書の氏名（法人にあってはその代表者の氏名）の記載を自署する場合には、押印を省略することができます。
- 法人である場合は、住所の主たる事務所の所在地を、氏名は法人の名称及び代表者の氏名をそれぞれ記載してください。
- 国籍等は、住民基本台帳法（昭和42年法律第81号）第30条の45に規定する国籍等（日本国籍の場合は、「日本」）を記載するとともに、中長期在留者にあっては在留資格、特別永住者にあってはその旨を併せて記載してください。法人にあっては、その設立に当たって準拠した法令を制定した国（内国法人の場合は、「日本」）を記載してください。
- 記2の「届出に係る土地の所在等」の備考欄には、登記簿上の所有名義人と現在の所有者が異なるときに登記簿上の所有者を記載してください。
- 記4の「権利を取得した事由」には、相続（遺産分割及び包括遺贈を含む）、法人の合併・分割、時効等の権利を取得した事由の別を記載してください。
- 記5の「取得した権利の種類及び内容」には、取得した権利が所有者の場合は、現在の耕作の状況、使用収益権の設定（見込み）の有無等を記載し、取得した権利が所有権以外の場合は、現在の耕作の状況、賃借料、契約期間等を記載してください。
- 記6の「農業委員会によるあっせん等の希望の有無」には、権利を取得した農地又は採草放牧地について、第三者への所有権の移転又は賃借権の設定等の農業委員会によるあっせん等を希望するかどうかを記載してください。